

『学生支援緊急給付金』申請対象者確認チェックシート

以下の項目に従って、ご自身が申請対象者に該当しているか否かを確認をして下さい。

原則①～⑤のすべての項目に該当（※）し、かつ⑥または⑦にも該当する場合は、**必要な証明書類を付けて**申請手続きを行って下さい。

学籍番号

氏名

| 申請確認項目 | いいえ | はい | 提出が必要な証明書類 |
|--|--------------------------|----------------------------|---|
| ① 学費を含めて家庭から多額の仕送り（年間150万円を目安）を受けていない | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> → | 【様式2】誓約書に仕送り額を記載して下さい |
| ② 現在（臨時的な帰省等は含まない＝通常生活時／1年生は居住予定先）、アパートや学生寮で生活しており、家庭からの支援を受けていない または、自宅で生活しているが家庭からの支援を受けていない | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> → | 「賃貸借契約書」のコピー等を提出して下さい 自宅通学の場合は家庭からの支援を受けていない旨を【様式1】申請書3.「申し送り事項」に記載して下さい |
| ③ 自身の家賃や生活費、 <input type="checkbox"/> 費の一部を <input checked="" type="checkbox"/> アルバイトで得た <input checked="" type="checkbox"/> 入から支出している | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> → | 【様式2】誓約書にアルバイトの収入額を記載して下さい |
| ④ 新型コロナウイルスの影響でアルバイト収入が大幅に減少（前月比50%以上減少）しており、給与明細などで証明できる（雇用調整助成金による休業補償を受けた場合は収入に加算） | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> → | アルバイト先からの減額前と減額後の「給与明細」または「給与振込通帳」のコピーを提出して下さい ※2020年1月以降の2か月分で減少がわかるもの |
| ⑤ 保護者からの仕送り増額が困難、もしくは保護者も収入減などの影響がでている | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> → | 【様式1】申請書3.「申し送り事項」に可能な限り詳細を記入して下さい |
| ⑥ 以下のいずれかの既存支援制度を受給している、もしくは新規に申請予定である A 高等教育無償化制度において第Ⅰ区分を受給している B 第一種奨学金を限度額まで受給している C 民間を含む支援制度（生活福祉資金貸付金や自治体奨学金等）を受給している | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> → | 「奨学生証」または「受給状況が把握できる書類」のコピーを提出して下さい 新規に申請予定の方は「世帯収入がわかる書類（前年度源泉徴収票）のコピーなど」を提出して下さい |
| ⑦ ⑥の制度は要件が満たさないため利用していないが、非課税世帯もしくはそれに準ずる世帯である | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> → | 【様式1】申請書3.「申し送り事項」にその旨を記載し、非課税世帯は「住民税非課税証明書」を提出して下さい |

（※）

①～⑥のいずれかで「いいえ」にチェックがある場合、原則今回の緊急給付金対象者ではありません。
（ただし、「いいえ」にチェックがある場合でも家計状況等を踏まえた総合的判断により対象となる可能性がありますので、判断に迷う場合等は学校宛てにご相談ください。）
また、既存の支援制度（高等教育無償化制度や日本学生支援機構の貸与型奨学金、お住いの市区町村の社会福祉協議会による資金貸付金など）の申請もご検討下さい。

※①～⑥(または⑦)に該当する場合であっても、全員が受給対象となる制度ではありません。国が指定する推薦枠内で学内選考した結果、給付対象とならないことがあることを、あらかじめご承知おき下さい。